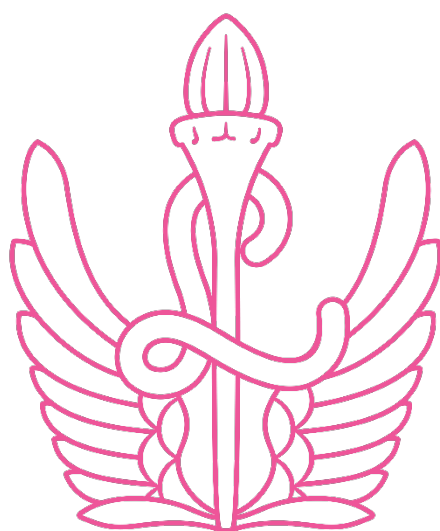


社会連携白書

2023

分析対象期間：2023 年度（一部他年度を含む）



2024 年 11 月 26 日

東京外国語大学

社会連携マネジメント・オフィス

目次

はじめに	3
2023 年度社会連携事業の総括	3
オープンアカデミー.....	7
オンライン日本語講座（OPJLC）	10
司法通訳養成講座（2019 年度～2023 年度）	12
TUFS Cinema	17
多言語版・漢字学習アプリ「たふマルリン」	20
言語文化サポーター事業.....	22
外部機関との連携事業.....	25
多文化共生活動助成事業.....	27

はじめに

少子高齢化やグローバル化が進む中、大学は教育・研究機関であると同時に、地域の課題解決や活性化に寄与することが求められています。本学では、社会連携マネジメント・オフィスが中心となり、異なる言語と文化背景を持つ人々が共生する社会の実現に向けた取り組みを企画・実施しています。より良い社会連携事業の企画・立案のために、今年度から社会連携白書を作成することにいたしました。本白書を公開し大学が実施している社会連携活動の内容やその成果を可視化することにより、地域住民や自治体、企業の皆様との信頼関係を強化し、さらなる協力や支援を得る基盤を築きたいと考えています。

本白書では、2023年度に新たに開始した活動や大きな進展が見られたプロジェクトを中心に、社会連携の事例をいくつか紹介し、それに続いて事業を実施することで得られたデータを報告します。

2023年度社会連携事業の総括

2023年度に新たに取り組んだ主な社会連携事業は、次のとおりです。

■ オンライン日本語教育センターの設立

学内外の留学生のさまざまな学習ニーズに応える質の高い日本語学習環境を提供する拠点を目指して、「オンライン日本語教育センター」を2023年4月に設立しました。同センターは、教育関係共同利用拠点（留学生支援施設）として文部科学省の認定を受け、オンライン日本語教材の開発やオンライン日本語講座のカリキュラム設計とその運営などを行っています。また、2023年度より文化庁／文部科学省からの委託で、筑波大学と共に日本語教師養成・研修推進拠点整備事業を請け負い、関東甲信越地区の拠点として、各機関とのネットワーク作り、地域内の日本語教育の方向性を共有するほか、日本語教師養成や研修の担い手に向けた研修の実施や好事例の共有などを行っていく予定です。

■ 日本語能力評価方法の改善のための調査研究事業

本事業は文部科学省から委託を受け、義務教育段階から高校段階までの外国につながる児童生徒の年齢発達とステージ別の能力記述文（CAN-DO リスト）の妥当性検証および学校での教育実践に活用できる「ことばの教育参照枠」（仮題）の活用方法（資料作成）の提案を目標としています。2023年度は、DLAを踏まえた言語能力評価方法の研究として、発達段階に対応した複数の年齢枠およびステージ別言語能力記述文案（CAN-DO リスト）についての量的妥当性の検証に取り組みました。量的研究の目的は、能力記述文（CAN-DO リスト）の各年齢枠の垂直尺度化（共通尺度化）です。記述文の内容が年齢相応か、年齢枠間の難易度の関係性が適切か、ステージ別の記述文の難易度とその順序性に問題がないかという課題を検証し、妥当性のある能力記述文（CAN-DO リスト）を完成させることを目的としています。

<https://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/itaku/2023-itaku01.html>

■ヨルダン日本語教育普及事業の実施

独立行政法人国際協力機構（JICA）との協定に基づき、本学は2022年11月からヨルダン・ハシェミット王国における日本語教育の普及事業に取り組んでいます。この事業は、在学生や卒業生を青年海外協力隊員として派遣し、現地で日本語教育を推進することを目的としています。長期派遣隊員は任期2年間、短期隊員は任期1ヶ月間現地に派遣され、日本語教育に関する活動を行います。長期隊員の主な任務は、ヨルダン大学の講師として日本語の授業を担当することですが、ヨルダン人の日本語教師養成のために日本語教育のノウハウを伝達する使命も負うこととなります。短期隊員は、ヨルダン大学の教壇に立つことはないものの、日本語の授業や日本語講座の中で会話の練習相手をするなど、長期隊員と連携した活動を行うほか、日本語弁論大会などのイベント開催を通して、日本語教育普及のための様々な活動を行います。2023年度は長期派遣隊員1名、短期派遣隊員2名を派遣しました。

■小学校への母語話者（留学生）の派遣

本学は、地域の学校や教育機関などと連携して外国語教育の普及や質の向上を支援しています。その活動の一つとして、小学校1年生から外国語教育を行っている東京都立立川国際中等教育学校附属小学校に、アラビア語、スペイン語、ドイツ語の母語話者である留学生6名を派遣しました。10月にドイツ語、11月にスペイン語、3月にアラビア語の授業を実施し、小学校1,2年生に対して母国の遊びや食生活等を紹介しました。

■連続市民講座の開催

建学150周年を迎えたことを記念して、読売新聞立川支局との共催で全11回からなる連続市民講座を実施しました。「世界を学ぶ、世界を生きる」をテーマに掲げ、東京外国語大学出版会から刊行された書籍を題材に、本学の教員がリレー形式で世界各地の歴史や文化、そして流動的な国際情勢に至るまで幅広いテーマで講義を行いました。延べ2402人が参加し、うち7回以上出席した120名には修了証書が授与されました。実際の講演会だけでなく、毎回の講義内容の詳細が読売新聞多摩版紙面、読売新聞オンラインに掲載され、広く本学の研究成果を発信することができました。

■「TUFS オープンアカデミー」の開講

2023年度に「TUFS オープンアカデミー」として、395講座64言語の語学講座に加え、教養講座を開講し、5,166名が受講しました。また夏の短期講座として、親子で多様な言語や文化、習慣に触れ理解を深めてもらうことを目的とした小学生向けの講座を9講座開講しました。これらの講座では、日本ではあまり触れることのない言語や世界の料理、文化を学ぶ機会を提供しています。小学生向けの講座に関しては、2024年度以降も講座数を増やし、実施を継続する予定です。

2023 年度に実施した社会連携事業（上記を含む）は、次のとおりです。

■多言語多文化共生センターによる事業

事業名	事業概要	2023 年度の TOPICS
TUFS 多文化共生活動	教員による多文化共生活動の助成	2 つの活動の助成を行った。 ・第 2 回アラビア語朗読コンテスト ・多文化共生への構造的暴力を考える： 「戦争と外大生」を手がかりに
司法通訳養成講座	青山学院大学と共同で司法通訳養成講座を開講	合計 19 名（タイ語 7 名、スペイン語 1 名、ベトナム語 11 名）が受講
医療通訳養成講座	東京医科歯科大学の協力を得て医療通訳養成講座を開講	2025 年度開講に向けて学内 MTG3 回、東京医科歯科大学との MTG1 回を実施
株式会社ファーストリテイリングとの連携	「新卒外国人従業員向け日本語研修」「海外大学向け日本語・文化研修」の提供	・新卒外国人従業員向け日本語研修 21 年～23 年入社組 （インド人・ベトナム人） 33 名が受講 ・海外大学向け日本語・文化研修 日本文化研修 3 大学 179 名が受講 （インド 2 大学・ベトナム 1 大学）
言語文化サポーター	公共機関等に本学卒業生等で組織した言語文化サポーターを派遣	弁護士会、学校、病院からの依頼 30 件に対してサポーター 29 名を派遣
TUFS Cinema	世界諸地域の社会・歴史・文化などの理解を深めることを目的に上映会・トークセッションを実施	上映会・トークセッションを 14 回開催し、2,621 名が参加
東京地方検察庁公安部との連携	覚書に基づき、通訳人の育成等を目的として連携	地検の通訳人研修に内藤稔准教授を派遣
警察庁・警察大学校との連携	本学から警察大学校の講義への講師派遣	警察大学校の「国際協力課程」の講義に青山亨理事を派遣
DLA 普及事業	DLA 普及のために関連資料を公開、自治体等での研修の実施	自治体などで 6 回の研修を実施
日本語能力評価方法の改善のための調査研究事業	外国につながる児童生徒の言語能力把握のため、年齢別能力記述文の妥当性検証のためのデータ収集	複数の年齢枠およびステージ別言語能力記述文案（CAN-DO リスト）についての量的妥当性の検証
JSL 高校社会科教材プラットフォームの作成事業	大学入学を目指す留学生、都立高校で学ぶ JSL 社会科教材プラットフォームの作成	「歴史総合」「地理総合」「公共」「日本史探求」の 4 教科の教材の提供に向けてページの構築
たふマルリン（漢字教材アプリ）の開発	外国につながる子どもたちのための教材のアプリ化	2023 年 3 月に Android 版、iOS 版をリリース
群馬県大泉町との連携	ポルトガル語語劇公演の実施	12/10 文化むらホールにて公演 参加者約 200 名

講演会・セミナー	「世界知」を発信する機会として講演会・セミナーを開催	VOLASpecial 7回、ボラたいむ 4回開催 2月多文化共生シンポジウム開催
----------	----------------------------	--

■ その他

事業名	事業概要	2023年度の TOPICS
オープンアカデミー事業	市民に対して生涯学習の場を提供	395 講座 64 言語の講座を開設し、 5,166 名が受講
ウクライナ現地の日本研究 学生向けオンライン日本語 学習支援	ウクライナの大学で日本語学科に在籍している学生に対し、オープンアカデミーオンライン日本語講座の日本語講座および日本教養講座を無償提供	日本語講座 108 名、日本教養講座 18 名 受講
三井物産株式会社との連携	「日本人従業員向けロシア語研修」「言語力測定テスト（オンラインテスト）」の企画及び実施	・日本人従業員向けロシア語研修 派遣前研修 2 名、派遣後研修 5 名受講 ・多言語レベルチェックテスト 7 言語（トルコ、ペルシャ、ヒンディー、タイ、ミャンマー、インドネシア、ベトナム）15 名受講
東京都立立川国際中等教育 学校附属小学校との連携	英語教材分析事業	教材からコーパスを作成し、学習内容の 基礎的な分析結果を報告
体育施設の外部貸出し	学内の体育施設の学外への貸出し	2024 年 4 月からのテニスコートの貸出しを公表
東京都立立川国際中等教育 学校附属小学校との連携	多言語教育への留学生の派遣	多言語教育の授業に留学生 5 名を派遣
近隣自治体との連携	協定に基づいた社会連携活動の実施	（府中市） 連携講座に山内准教授と東城准教授を派遣 （調布市） 平和フェスティバルに伊勢崎教授を派遣 （三鷹市） 三鷹ネットワーク大学推進機構の理事に 林学長が就任

オープンアカデミー

■ 事業概要

本学が専門とする言語や地域文化を中心に幅広く（年間およそ 300）、生涯学習の場として講座を展開しています。

オープンアカデミーHP <https://tufsoa.jp>

■ 分析対象

2023 年度のオープンアカデミー受講者

■ 平均的な出願者像

データ分析の結果分かった平均的な 2023 年度のオープンアカデミー受講者像は、次のとおりです。

- ・年 齢：47.3 歳（最年少 7 歳、最高齢 97 歳）
- ・性 別：女性（全体の約 69%）
- ・居 住 地：関東地方在住

■ 分析項目

1. 講座数・言語数・受講者数
2. 年齢
3. 性別
4. 居住地

■受講者分析

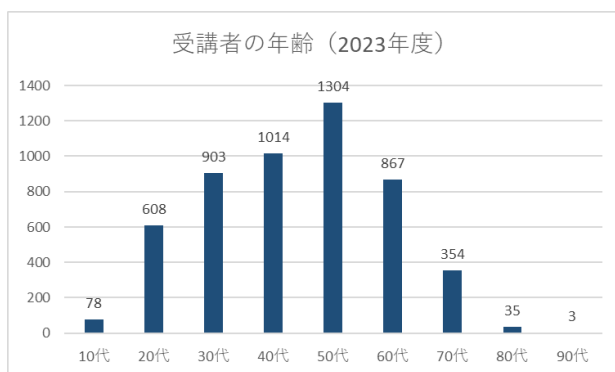
【分析1 講座数・言語数・受講者数】

■2023年度の講座数・言語数・受講者数（ ）内は2022年度

講座数	395 (363)
言語数	64 (60)
受講者数	5166 (5329)

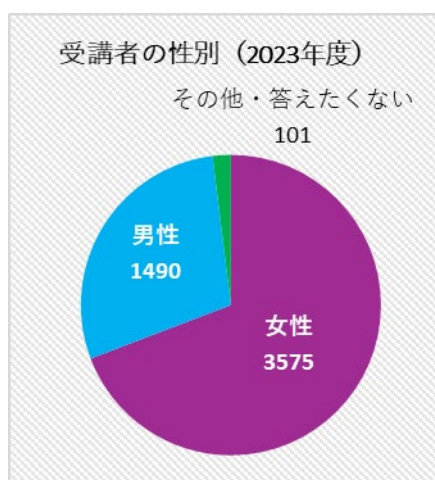
2023年度はオープンアカデミーとして64言語395講座を開講し、受講者は5,166名でした。

【分析2 年齢】



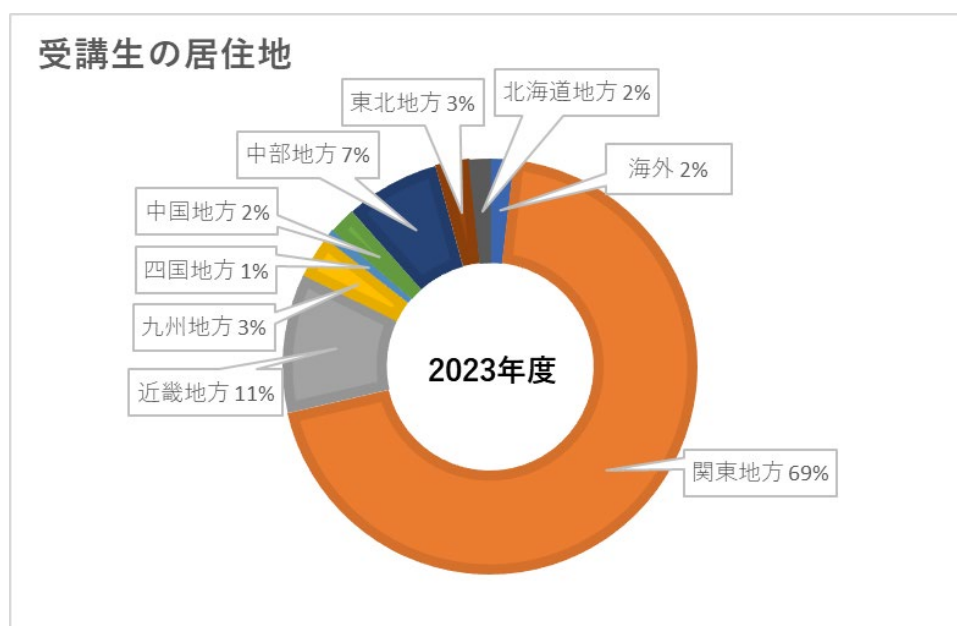
10代から90代の幅広い世代の方が、受講しています。特に40代と50代の受講者が多く、それぞれ1,014名および1,304名となっています。また、30代（903名）および60代（867名）の受講者も多い状況です。

【分析3 性別】



講座受講者の男女比は、女性が3,575名で全体の約69%を占め、男性の1,490名（約29%）の倍以上となっています。

【分析4 居住地】



2020年度に「対面開講」から「全講座オンライン開講」に完全移行したことにより、全国のみならず海外からの受講者も多数います。

オンライン日本語講座（OPJLC）

■ 事業概要

日本語を母語としない日本の大学で学ぶ学生・大学院生を対象に、2021年春から日本語講座を無料で提供しています。受講生のレベルや学習スタイルに合わせて「ライブ型コース」と「オンデマンド教材型コース」のいずれかを選択して受講することができます。

OPJLC 紹介ページ

https://www.tufs.ac.jp/social_international/open-academy/online-jpclass/preparatory_2024_summer.html

■ 分析対象

2023年度のオンライン日本語講座受講者

■ 分析項目

1. 講座数・受講者数
2. 居住地

■ 受講者分析

【分析 1 講座数・受講者数】

■ 2023年度の講座数・言語数・受講者数（ ）内は2022年度

講座数	6 (3)
受講者数	143 (53)

2023年度のオンライン日本語講座は、6講座で開講し、受講者数は143名でした。2023年度より、春学期（2～3月）に加え夏学期（8～9月）も開講するところになり講座数が増加し、受講者数の増加につながっています。

【分析2 居住地】

2023年度のオンライン日本語講座の受講者の居住地は、次のとおりです。

■2023年度夏（2023年8～9月）

国名	人数
日本	7
インドネシア	3
バングラデシュ	3
モンゴル	3
中国	3
パキスタン	2
コンゴ	2
英国	2
インド	1
ベトナム	1
マカオ	1
ウガンダ	1
エジプト	1
ナイジェリア	1
マダガスカル	1
フィジー	1
ホンジュラス	1
米国	1
ウクライナ	1
ジョージア	1
合計	37

■2023年度春（2024年2～3月）

国名	人数
日本	80
ガーナ	4
米国	4
ブラジル	3
ザンビア	2
スイス	2
インド	1
インドネシア	1
タイ	1
中国	1
フィリピン	1
ベトナム	1
エジプト	1
カメルーン	1
コンゴ	1
ルワンダ	1
ポーランド	1
合計	106

司法通訳養成講座（2019年度～2023年度）

■ 事業概要

本学と青山学院大学で、法廷、捜査、弁護活動など様々な司法の現場で、異なる言語と文化のあいだに立ち、コミュニケーションの円滑化にあたるスペシャリストを養成するための「司法通訳養成講座」を開講しています。

専門通訳講座 HP <https://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/shiho.html>

■ 分析対象

2019年度～2023年度 司法通訳講座出願者

※コロナ禍で中止となった2020年度を含みます

■ 平均的な出願者像

データ分析の結果分かった講座の平均的な出願者像は、次のとおりです。

- ・年 齢：44.0歳（最年少19歳、最高齢77歳）
- ・居 住 地：関東在住
- ・最 終 学 歴：大学卒

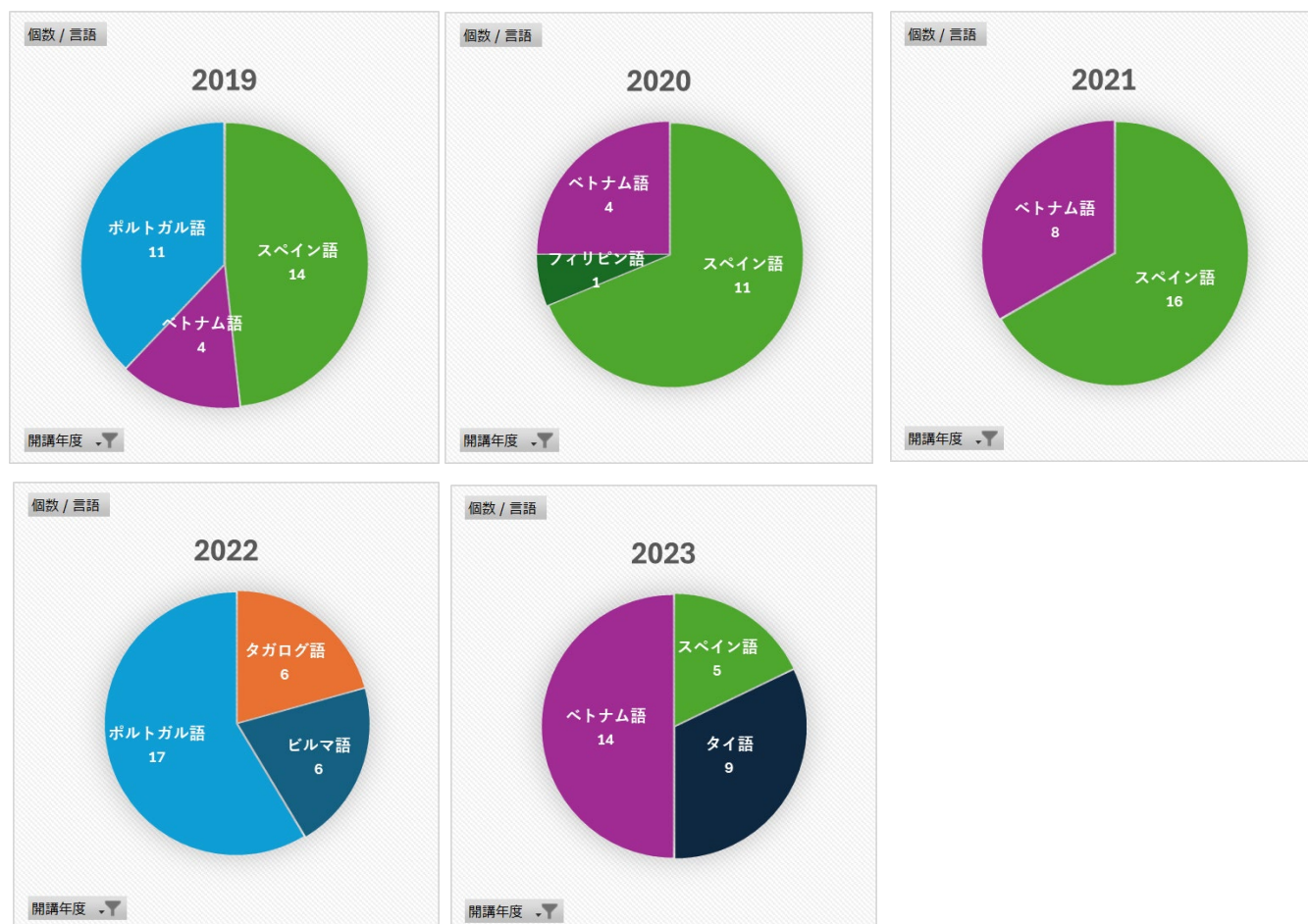
■ 分析項目

1. 出願言語
2. 年齢
3. 居住地

■ 出願者分析

【分析 1 出願言語】

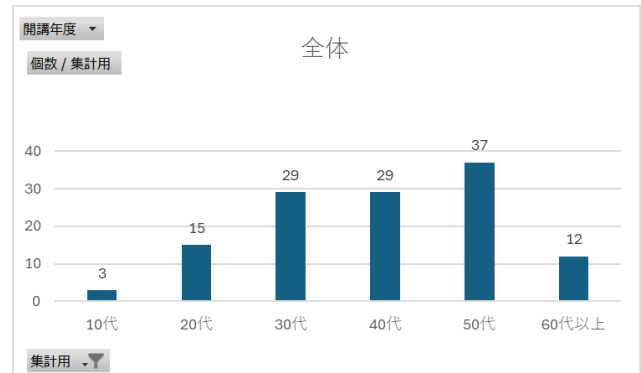
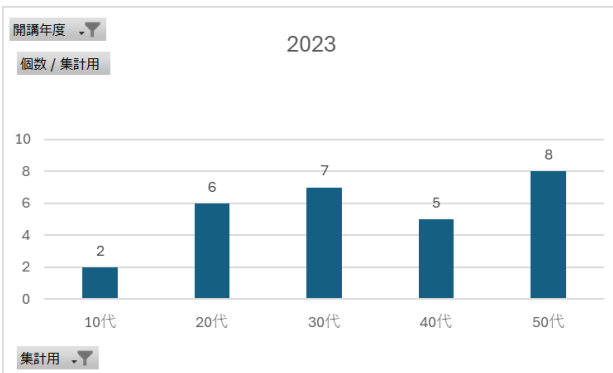
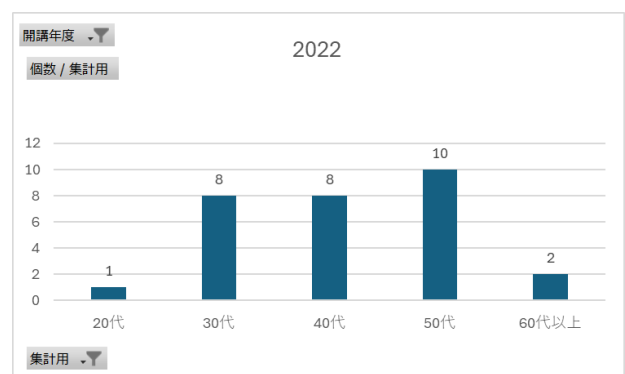
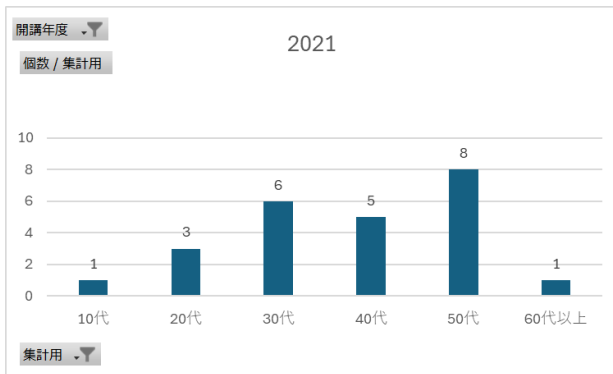
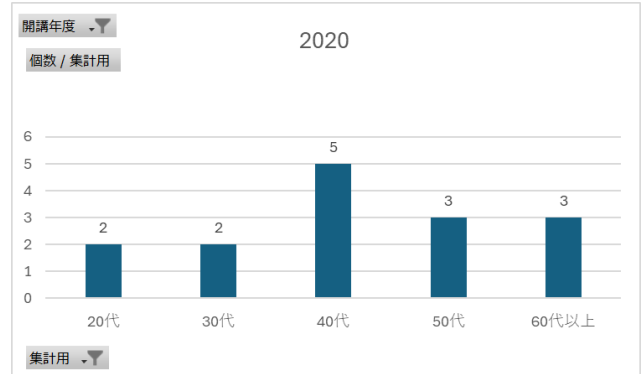
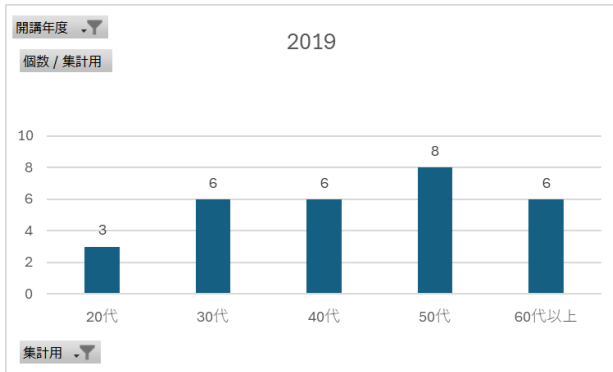
各年度別の言語別の出願者数は、次のとおりです。



年度別の開講言語は、次のとおりです。

- ・ 2019 年度 スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語
- ・ 2020 年度 スペイン語、フィリピン語、ベトナム語 ※コロナ禍で中止
- ・ 2021 年度 スペイン語、ベトナム語
- ・ 2022 年度 タガログ語、ビルマ語、ポルトガル語、
- ・ 2023 年度 スペイン語、タイ語、ベトナム語

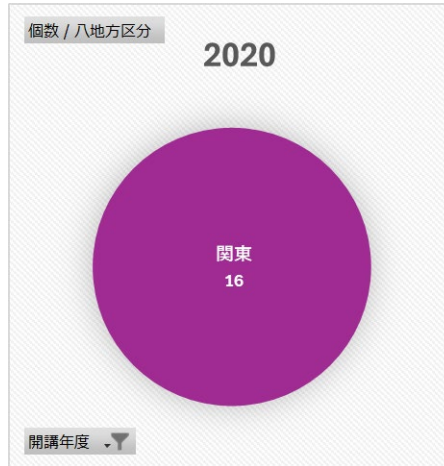
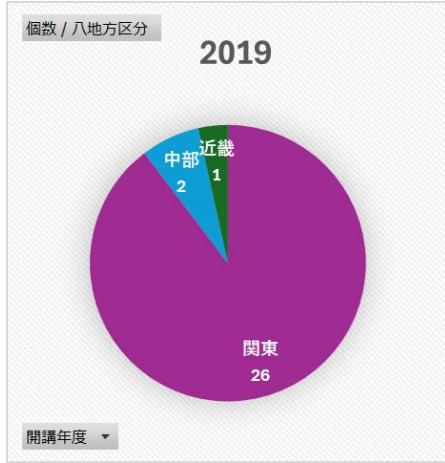
【分析 2 年齢】



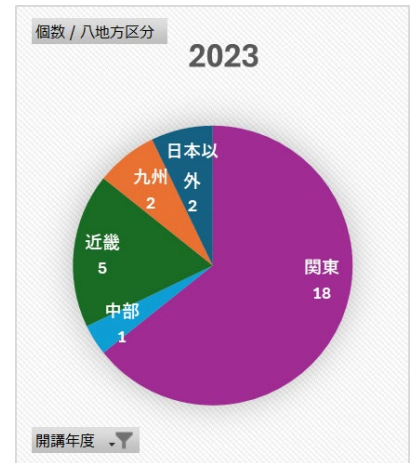
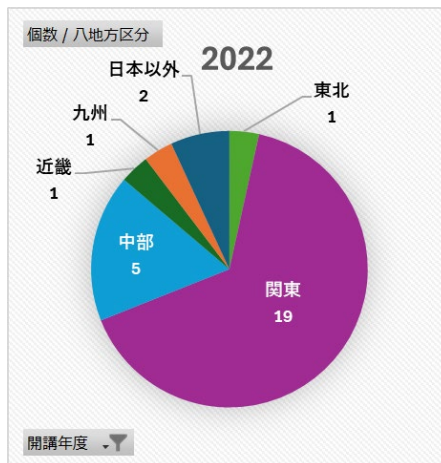
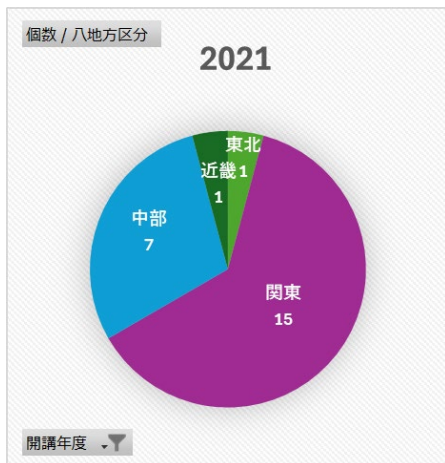
若干 50 代の出願が多いことが見て取れますが、20 代から 50 代の幅広い年齢からの出願を確認することができます。ただ、60 代以降の出願は少ないことがわかります。

【分析3 居住地】

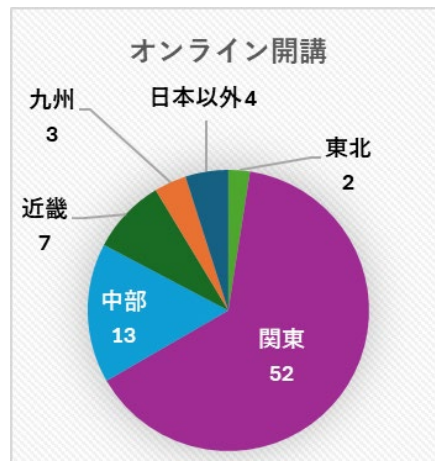
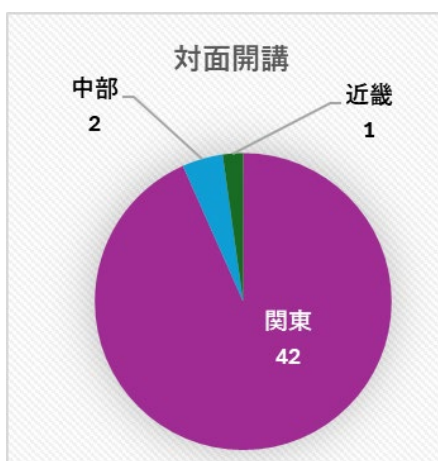
□2019年度～2020年度（中止）：青山学院大学青山キャンパス（東京都渋谷区）



□2021年度～2023年度：全講座オンライン開講



□「対面開講」と「全講座オンライン開講」の比較



「対面開講」から「全講座オンライン開講」に移行したことにより、海外を含む関東以外の参加者が増えたことがわかります。ただ「全講座オンライン開講」となった後も、関東からの出願者が大半となっています。

TUFS Cinema

■ 事業概要

世界諸地域の社会・歴史・文化などの理解を深めることを目的に、映画の上映会を企画・運営しています。映画上映に加え、本学教員や専門家などによるトークセッションを行い、映像だけでは捉えきることのできなかった当該地域の歴史・文化・社会・宗教などの背景についても理解を深めることができるのが魅力です。2023年度は、14回の上映会を開催しました。

TUFS Cinema HP <https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>

■ 分析期間

2023年4月1日～2024年3月31日

■ 分析項目

1. 曜日別平均申込者数
2. 申込者数と来場者数
3. 開催日が連続した場合の申込者数

■ 2023年度上映作品

2023年度に、TUFS Cinema で上映した作品は次のとおりです。

実施日	曜日	開催時間	上映作品	制作国
4/22	土	14:00-17:15	ムンナ兄貴とガンディー	インド
5/14	日	14:00-16:30	チエチエメ二号の冒険	日本
6/25	日	15:00-17:00	地球は自分を誰だと思っているのか？（火になる）	日本
7/1	土	14:00-16:00	にっぽんむすめ	日本・ミャンマー
7/22	土	13:00-16:00	神授の花：フェルガナの女性とイスラーム	日本・ウズベキスタン
7/23	日	14:00-17:30	ソロウェディング	香港
9/3	日	14:00-16:15	命の葉	イラン
12/1	金	18:15-20:45	遊牧のチャラパルタ～バスク幻の伝統打楽器奏者オレカ TX の旅～	スペイン
12/8	金	18:15-20:45	ベルチョラリー～バスクの即興歌人～	スペイン
12/15	金	18:15-20:45	バスク・ダンス万華鏡	スペイン

12/16	土	14:00-17:30	神に誓って	パキスタン
12/17	日	13:00-17:30	いつか、どこかで / どこでもない、ここしかない	スロベニア他 / セルビア他
12/23	土	14:00-16:00	土曜の午後に	パキスタン
2/18	日	14:00-16:30	ウォーデン 消えた死刑囚	イラン

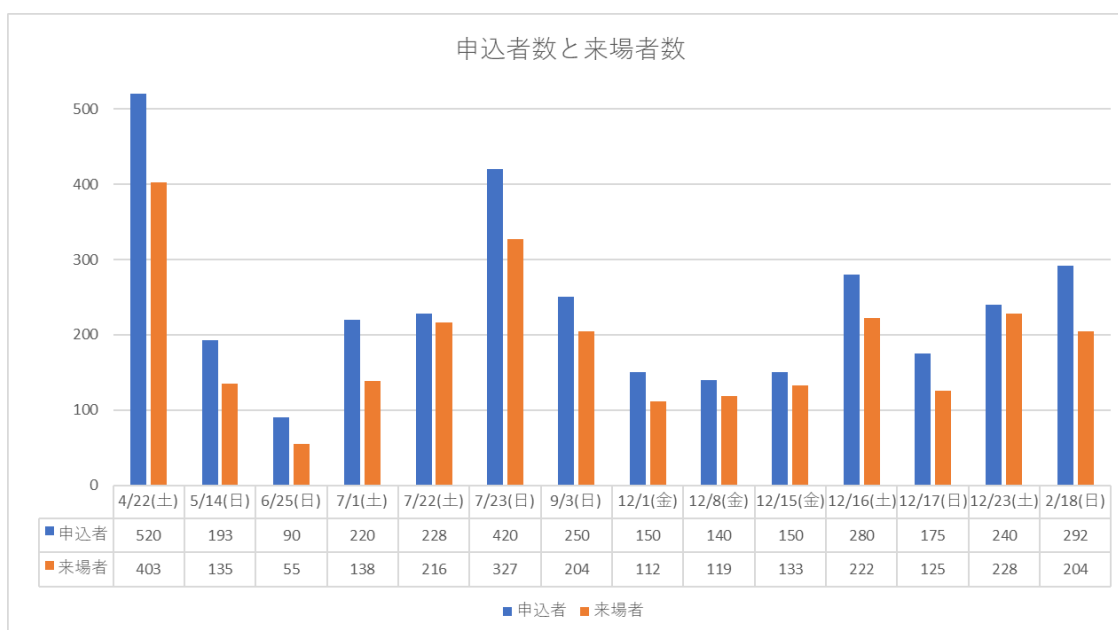
■ 分析結果

【分析 1 曜日別平均申込者数】

開催日	開催日数	申込者数計	申込者数平均
金曜日	3	440	147
土曜日	5	1488	298
日曜日	6	1420	237
合計	14	3348	239

2023 年度に TUFS Cinema は 14 回開催され、申込者数の合計は 3,348 名でした。申込者数の曜日別の平均をみると、金曜日が最も少ない 147 名で、土曜日が最も多い 298 名となっています。最大の 520 名の申込者数を記録した 4 月 22 日開催の「ムンナ兄貴とガンディー」も、土曜日開催の上映会です。

【分析 2 申込者数と来場者数】



各回のイベントにおける来場率は、最も高い回が 95% で最も低い回が 61% でした。全体的に高い来場率が確認され、ほとんどのイベントで来場率は 70% 以上となっています。来場率の平均を算出すると、金曜日 83%、土曜日 81%、日曜日 74% となっており、日曜日に比べ金曜日および土曜日の来場率が高いことがわかります。

多言語版・漢字学習アプリ「たふマルリン」

■ 事業概要

本学ウェブサイトのなかでも人気コンテンツであった「子ども向け教材」をアプリ化し、2023年3月にiOS版、Android版をリリースしました。小学校1年生から3年生に習う漢字を学習することができ、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、英語、ベンガル語、日本語の8言語で展開しています。

たふマルリン紹介ページ <https://www.tufs.ac.jp/visitors/materials/tufsmultiling.html>

■ 分析期間

2023年4月1日～2024年3月31日（App Storeからのダウンロードに限る）

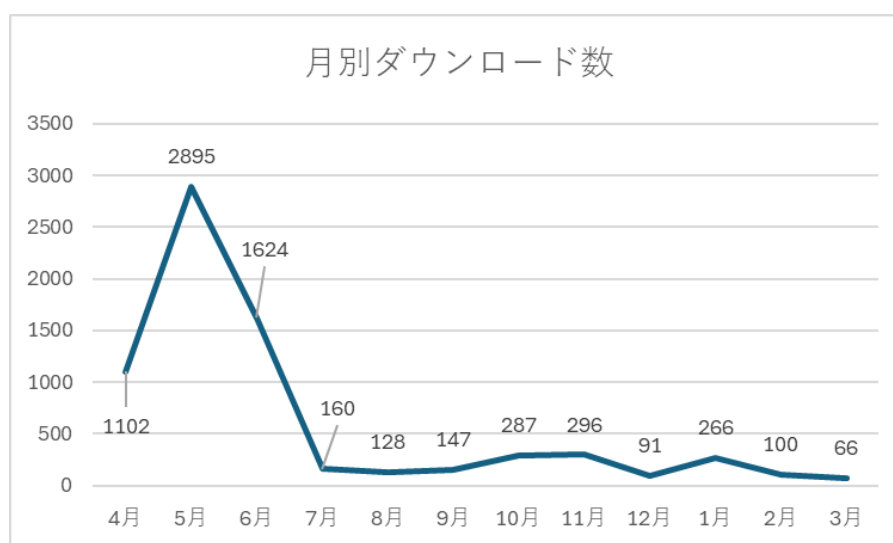
■ 分析項目

1. 月別ダウンロード者数
2. 地域別ダウンロード者数

■ 分析対象

データ上では183,324件のダウンロードが検出されていましたが、日平均20件程度のダウンロード数に対し、1,023件から32,423件のダウンロードが検出された日が16日（合計176,162件）ありました。これらの数値は確実性を担保できないため、「外れ値」として分析には含めないものとししました。その結果、分析対象のダウンロード数は7,162件となります。

【分析1 月別ダウンロード数】



2023年3月25日にiOS版のアプリをリリースしたのち、4月1,102件、5月2,895件、6月1,624件とダウンロード数は好調でした。しかし、その後は月ごとの増減は見られるものの、全体的には緩やかな減少傾向が続いています。

【分析2 地域別ダウンロード数】

(10件以上のダウンロードがあった国・地域)

国名	ダウンロード数
日本	6019
ブラジル	237
アメリカ合衆国	225
ベトナム	159
ドイツ	65
タイ	38
カナダ	36
フィリピン	34
オーストラリア	31
中国	29
イタリア	28
イギリス	26
メキシコ	23
フランス	19
スペイン	13
ポルトガル	13
シンガポール	11
スイス	11
インドネシア	10
トルコ	10
ペルー	10

(日本語学習者の多い国・地域)

国名	人数
中国	1,057,318
インドネシア	711,732
韓国	470,334
オーストラリア	415,348
タイ	183,957
ベトナム	169,582
米国	161,402
台湾	143,632
フィリピン	44,457
マレーシア	38,129

※出典：国際交流基金

「海外の日本語教育の現状 2021年度日本語教育機関調査」

2023年度の1年間で、65の国と地域からダウンロードがありました。10件以上のダウンロードがあった国・地域名は、上記のとおりです。日本国内からのダウンロード数は全体の約85%に達し、100件以上のダウンロードがあった国はブラジル、アメリカ合衆国、ベトナムの3カ国のみとなっています。国際交流基金「海外の日本語教育の現状 2021年度日本語教育機関調査」における「日本語学習者の多い国・地域」と比較すると、学習者の多い上位10位の国・地域のうち7カ国がダウンロードの多い国・地域に含まれていますが、ダウンロード数は決して多いとは言えない状況です。

言語文化サポーター事業

■ 事業概要

一定の言語能力がある本学卒業生等で組織した言語サポーターに、外国人支援や国際イベントのボランティアを紹介し、地域での活動経験の場を提供するとともに、大学の社会貢献の一環として、多文化共生に資することを目指しています。

言語文化サポーターHP <https://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/supporter.html>

■ 分析期間

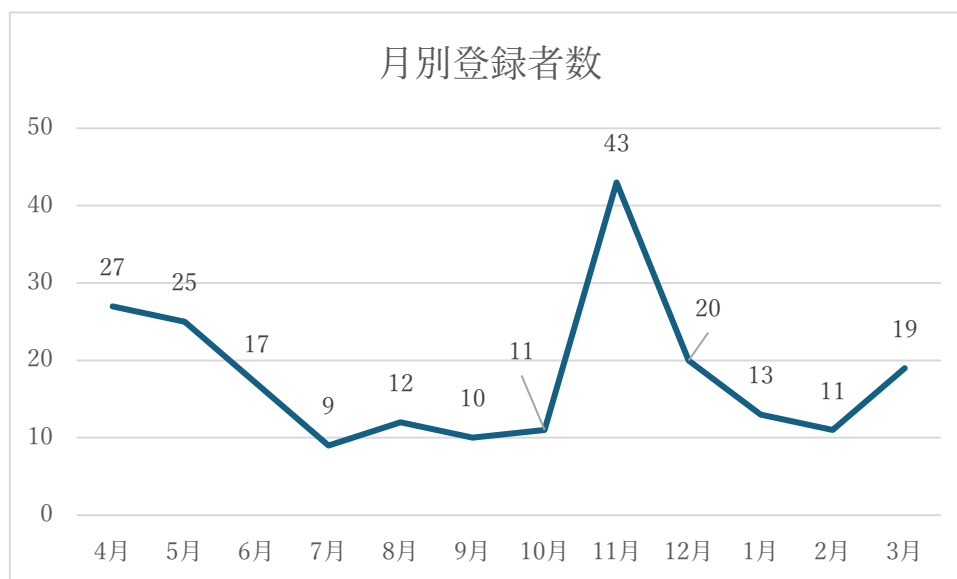
2023年4月1日～2024年3月31日

■ 分析項目

1. 月別登録者数の推移
2. 言語別登録者数と依頼案件の割合

■ 分析結果

【分析1 月別登録者数の推移】



2022年度末時点における言語文化サポーターの登録者数は654名、登録されている言語数は39言語でした。2023年度の1年間で217名が新たに登録し、退会者12名を除くと最終的な登録者数は859名となりました。言語数は3言語増え42言語となり、着実に登録者数、登録言語数が増加しています。

【分析2 言語別のサポーターへの依頼率】

言語	登録者数	依頼人数（延べ人数）	依頼率*
英語	335	13	4%
中国語	71	4	6%
スペイン語	68	2	3%
フランス語	36	1	3%
ポルトガル語	34	3	9%
インドネシア語	19	1	5%
タガログ語	14	7	50%
トルコ語	13	1	8%
ベトナム語	12	1	8%
モンゴル語	8	1	13%
ネパール語	1	1	100%

* 依頼率 (%) = 依頼人数/登録者数×100

2023年度における言語文化サポーターへの依頼案件は16件で、依頼人数の合計は35名でした。言語別に登録者数と依頼人数の割合を算出した結果、登録者数1名に1名の依頼があったネパール語を除くと、タガログ語への依頼率が際立って高いことがわかります。登録者数が最も多い英語は、依頼人数が13名で依頼率は4%にとどまっています。

依頼があった案件は、次のとおりです。

依頼番号	依頼元	業務内容	言語	募集人数	実施日
①	弁護士会	無料法律相談会通訳	ポルトガル語	1	5/27
②	高校	保護者会・三者面談通訳	タガログ語	1	7/21,24,26
			スペイン語	1	
③	学内	文書翻訳	ポルトガル語	1	7/14-31
			スペイン語	1	
④	病院	医療通訳	トルコ語	1*	8/24,25
⑤	弁護士会	無料法律相談会通訳	英語	1	9/1, 8
			フランス語	1*	
			ポルトガル語	1*	
			中国語	1*	
⑥	自治体	リレー専門家相談会通訳	英語	2	9/3
⑦	高校	授業内通訳	英語	1*	9/20-11/29
⑧	弁護士会	無料法律相談会通訳	英語	2	9/25
			タガログ語	1	
			中国語	1	

⑨	自治体	無料法律相談会通訳	タガログ語	2	9/30
⑩	弁護士会	無料法律相談会通訳	英語	2	11/27
			タガログ語	1	
			中国語	1	
⑪	他大学	文書翻訳	モンゴル語	1	12/12
⑫	学内	文書翻訳	英語	1	12/29-1/4
⑬	学内	文書翻訳	英語	1	1/17-1/18
⑭	弁護士会	無料法律相談会通訳	英語	1	2/2
			タガログ語	1	
⑮	弁護士会	無料法律相談会通訳	英語	2	2/26
			タガログ語	1	
			中国語	1	
⑯	学内	文書翻訳	ベトナム語	1	3/29-4/3
			インドネシア語	1	
			ネパール語	1	

* 言語サポーターからの応募がなかった案件

外部機関との連携事業

■分析期間

2023年4月1日～2024年3月30日

■分析項目

1. 連携協定等締結機関と連携事業

■分析結果

【分析1 連携協定等締結機関と連携事業】

2023年度末時点で、社会連携事業の推進等を目的とし本学と連携協定等を締結している機関は次のとおりです。2023年度は、「山形市」「東京書籍株式会社」「三井物産株式会社」の3つの機関と新たに協定等を締結しました。

区分	機関名	締結日	協定等名	主な連携事業
自治体	府中市	2006/9/13	協働・連携に関する相互友好協定	連携講座、外国人市民向け生活便利帳の作成
自治体	調布市	2006/11/2	相互友好協力協定	講演会等への講師派遣
自治体	三鷹市	2020/2/13	包括的な連携協力に関する協定書	講座等への講師派遣
自治体	府中市美術館	2019/9/30	連携協力に関する協定	常設展・企画展の無料観覧
自治体	山形県4市町 (寒河江市、高畠町、 白鷹町、飯豊町)	2018/5/29	相互協力協定	地域活性化のためのスタディツアー
自治体	山形県	2019/2/20	国際化の推進に関する相互協力協定	地域活性化のためのスタディツアー
自治体	山形市	2023/5/12	相互協力協定	地域活性化のためのスタディツアー
企業	株式会社ファーストリテイリング	2019/3/1	業務委託基本契約	新卒外国人従業員向け日本語研修 海外大学向け日本語・文化研修

企業	東京書籍株式会社	2023/10/26	日本語指導が必要な児童生徒向け教科用図書リライト教材の活用に向けた共同実証研究に関する協定	日本語指導が必要な児童生徒向け教科用図書リライト教材の制作
企業	三井物産株式会社	2023/11/15	業務委託基本契約	日本人従業員向けロシア語研修 多言語レベルチェックテスト作成
公的法人	独立行政法人国際協力機構	2022/11/29	JICA 海外協力隊派遣に関する覚書	ヨルダン日本語教育隊員派遣事業

委託事業や教育プログラムなどの当初から予定されていた事業以外で、外部機関と実施した連携事業は次のとおりです。

依頼元	依頼機関	簡単な業務内容	実施日
府中市	南白糸台小学校	留学生による授業	5/29-6/2
府中市	府中第二中学校	留学生による授業	1/23
府中市	府中市生涯学習センター	連携講座	1/22, 1/30
立川市	立川国際中等教育附属小学校	留学生による授業	9-3月

多文化共生活動助成事業

■ 事業概要

世界のさまざまな地域の社会や文化への理解を促進することが不可欠となっている中、多言語多文化共生センターでは教員が異文化や異なる社会の相互理解を深めるために実施する活動を支援しています。

■ 分析対象

2023 年度助成事業 2 件

■ 分析項目

1. 助成事業一覧と活動結果

■ 分析結果

【分析 1 助成事業一覧と活動結果】

2023 年度は「TUFS 多文化共生活動」助成事業として、次の事業へ助成を行いました。

助成事業	実施期間	活動内容（参加者数）	メディア報道
① 多文化共生への構造的暴力を考える：「戦争と外大生」を手がかりに	2023/11/22 ～ 11/26	展示企画展（1500 名弱） 映画上映（200 名以上）	朝日新聞 しんぶん赤旗 毎日新聞 読売新聞
② 第 2 回 アラビア語朗読コンテスト	2023/12/9	コンテスト主催 （参加者 25 名）	毎日新聞

①は大学祭実施期間中に実施されました。事前の新聞報道による広報活動もあり、幅広い年齢層の多くの来場者が展示企画展や映画上映に参加しました。その成果が評価され、大学祭の企画として学長賞を受賞しています。②のコンテストは、参加者は限定的ではありましたが、本学の学生が最優秀賞を受賞し、その結果が新聞で報道されました。①②ともに本学の活動を学外に広くアピールすることに成功しており、助成の意義を十分に示すことができました。